

### 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「長野からJ1へ」応援隊事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 長野スポーツコミュニティクラブ東北 (理事長 柳見沢宏 090-8516-7025)
事業区分	教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	593,360円 (うち支援金: 400,000円)

#### 事業内容

AC パルセイロのサポーターを増やす。

東北中学校地域からスタジアムにより多くのサポーターを届けたい。

- ① サポーター事業：11月22日、オレンジ色のチュールリップを柳原公民館に植える。3月5日、本田監督の講演会を開催、150名余りを集客。
- ② 指導者講習会・指導マニュアル作成事業：スポコミ東北FCを結成、異年齢での活動を始める。既存クラブや学校関係者が連携。小・中・高校生への指導体制を確立。
- ③ シンポジウム事業：地域や保護者にサッカーをきっかけにグローバルなスポーツ感を定着させる。



【本田監督の講演会】

#### 【目標・ねらい】

- ① 小・中・高校生の連携
- ② 指導者のつながり
- ③ 保護者・地域関係者のかかわり
- ④ AC長野パルセイロとの連携

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① については、定期的に活動を続けていることで、連携が深まり、この時間にあの場所に行くと「サッカーができる」との思いが深まった。
- ② については、異年齢活動マニュアルを作成しながらより広い指導者交流ができた。
- ③ については、サッカーのゲームを企画することはできなかったが、パネルディスカッションや講演会での参加でも関わりの広がりを実感できた。
- ④ については、北からの応援隊については大変関心を持ってもらい、全面的に協力をしてもらえた。

#### ※自己評価【 B 】

##### 【理由】

幾つかの事業が実施できなかったが、いろいろな企画に多方面化の参加者を募ることが出来た。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

サッカーをとおして、地域の広がりを企画するためには、各住民自治協議会との関わり方が必要になる。子供たちのサッカーへの活動参加を促しながら、子供と共に地域の大人たちの動きをまとめていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある